

# ウルトラシリコンパワープラグコードの装着方法

1. 必ずこの「装着方法」と「取付け時のご注意」をよくお読みの上作業に取り掛かって下さい。
2. 下記作業行程に従って純正コードと交換してください。
3. 1つの行程が終わりましたら、手順左にあるチェック欄にしるしを付け、次の行程にお進みください。

## ご注意

一度に全てのプラグコードを外さないこと。ディストリビューターキャップ上のプラグコードは、点火順序に並んでいます。一度に全てのプラグコードを外してしまうと、シリコンコードを装着する際、点火順序が分からなくなり、エンジンが正常に回転しなくなります。必ず1本ずつ交換してください。

また、極一部の車種ではプラグコードの交換のために、エンジン上部を覆っているエアクリーナーボックスなど補機類を取り外す作業が必要ですが、作業の難易度については事前に販売店、または、弊社営業部までお問い合わせください。

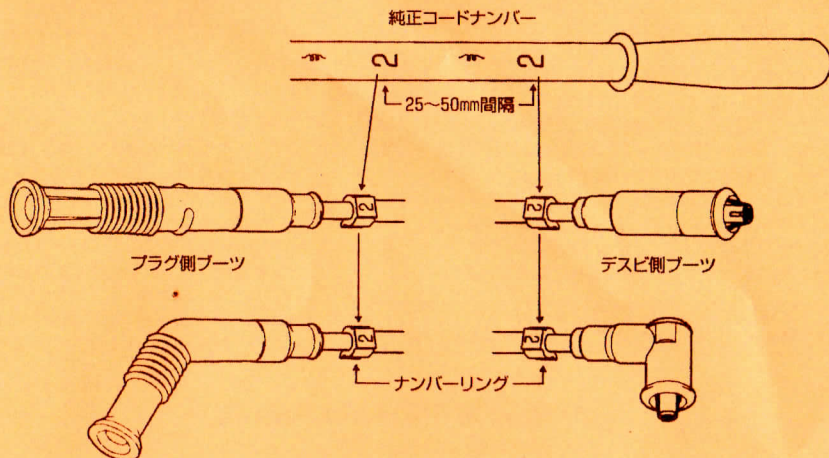
## チェック

## 作業行程

- 純正コードを1本引き抜き、純正コードと同じ長さのシリコンコードを探す。
- シリコンコードのプラグ側、ディスビー側に付属のNo.リングを付け、シリコンコードを装着。(カチッと音がするまで、しっかり押し込む)
- 以降1本ずつ順番に上記の手順で純正コードとシリコンコードを交換。
- センターコード(コイルからディスビーキャップのコード)が付属されているセットでは、純正のセンターコードを外し、シリコンコードの「COIL」のしるしがある側をコイルに装着。残りの端子側をディスキャップのセンターに装着。(トヨタII Aシステムなどディストリビューター内にIGコイルを内蔵しているタイプではセンターコードが本来ありませんので、セットにも付属していません)

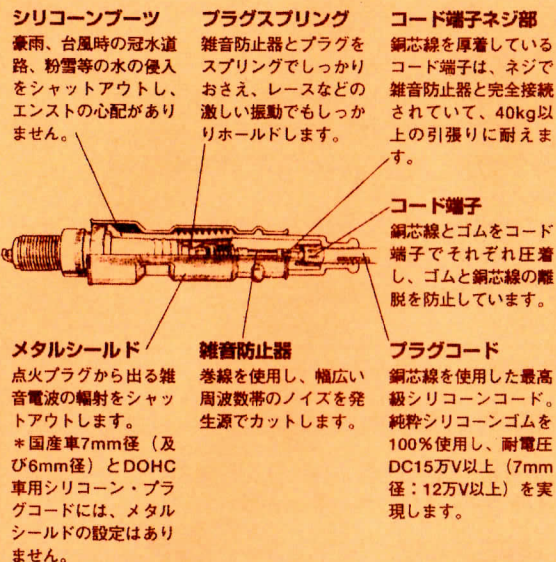
## No.リングについて

No.リングを取付ける際には、純正コードに表示されている数字を参照してください。



# シリコンパワープラグコード

AM,FM放送、カーステレオ、カーTVへのノイズを完全に防止!



## プラグコード取外し時のご注意

**良い例** プラグコードを抜く時は、必ずブーツを持ってまっすぐ上に引き抜いて下さい。

**良い例** 90°及び120°型ブーツは、プラグ側のブーツをつかみ、プラグに對しまっすぐ上に引き抜いて下さい。

**悪い例** プライヤーは絶対に使わないで下さい。ブーツが切れリークします。

**悪い例** 90°及び120°型ブーツはコード側を持って引っ張るとテコになり、プラグ端子を破壊します。

**悪い例** バッテリー液がかからない様、十分に注意して下さい。コードやブーツに付くと、シリコンゴムが溶解し、リークの原因となります。

\*ディストリビューター側のブーツは、下端を上まくり上げる様にして引き抜きます。(上部を持って上に引っ張ると、ゴムが伸びて抜くようになります。)

\*取付け後は、付属のナンバーリングを各気筒番号に合わせて取り付けてください。

\*万一、コードにバッテリー液が付着した場合は、すぐに水道の水でよく洗浄してください。

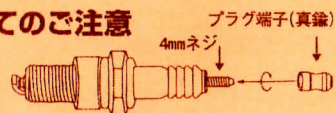
\*X印で使用した場合は保証対象外となります。

## 取付け時のご注意

- プラグコードは、ディストリビューター側で一本ずつ外し、長さを確認して取付けます。(一度に全て取外すと、点火順序が分からなくなります)
- プラグに「ウルトラシリコンプラグコード」をセットする時は「カチッ」と手応えのあるまで確実に押し込んで下さい。

## ■輸入車についてのご注意

BENZ、BMW等ボッシュ社製ディストリビューター装着車の一部に、純正点火プラグで右図の様にプラグ端子がない(4mmネジ)純正プラグコードの仕様があります。お取り付け前に車の点火プラグ頭部を確認して下さい。純正点火プラグ頭部にプラグ端子を使用していない車種には、弊社パワープラグコードには真鍮製プラグ端子を付属していますので、必ずプラグコード交換前に点火プラグ頭部にプラグ端子をプライヤーで確実に取り付け下さい。(ネジ部が傷んでいる為、プライヤーで締め付けないと入らない場合があります) 注意：点火プラグ頭部にプラグ端子付きの純正プラグコード仕様の場合、真鍮製プラグ端子は付属されていません。



注：ウルトラ同時点火・ハイパーイグニッションシステムには、別途専用セットが必要となります。(定番品は使用出来ません。)

**永井電子機器株式会社**

〒213-0033 川崎市高津区下作延 2-31-1  
TEL.044-877-2441(代) FAX.044-877-2658